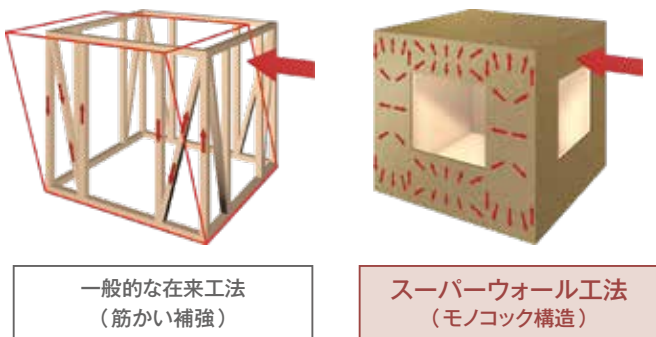


「木造軸組+パネル」の高耐震モノコック構造

SW工法は、木造軸組工法とパネル工法を組み合わせた、モノコック構造。壁・床・天井が一体化した箱形構成により、大きな外力にも変形しにくい特徴を持ちます。また、地震の揺れを抑え、くり返しの地震に強い「制震仕様パネル」もご用意しています。

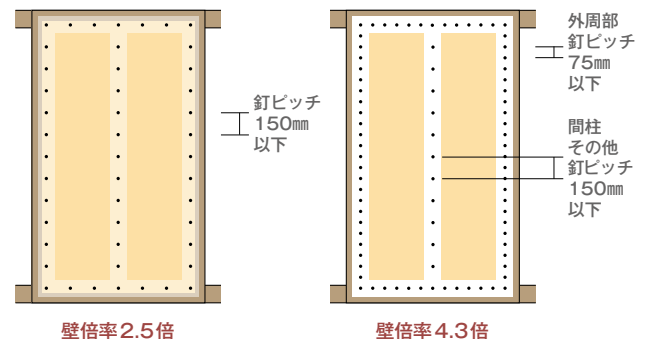
6面体の一体化による、強靱な「モノコック構造」

SW工法は、壁・床・天井が一体化した箱形を構成するモノコック構造。地震や台風などの外力が接合部などに集中しにくく、建物全体に分散するため、ひずみやくるいに強さを発揮します。



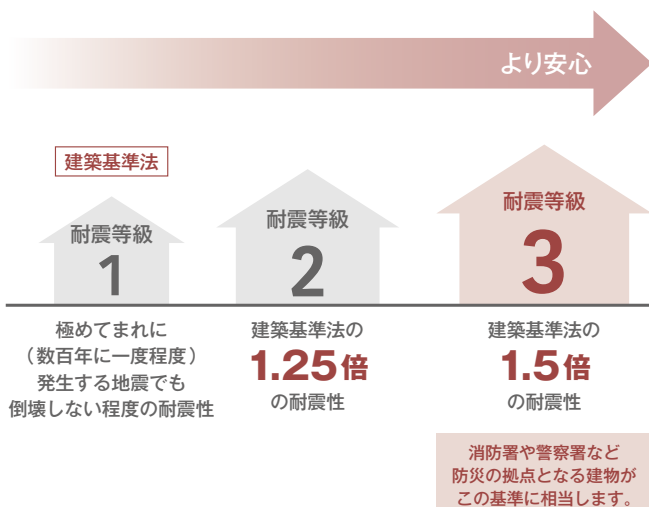
効率よく耐震性を高める「壁倍率4.3倍パネル」

高性能SWパネルは、高耐力の構造用パーティクルボードと断熱材を一体化し、壁倍率4.3倍を実現。壁倍率2.5倍のパネルと組み合わせることで、効率よく耐力壁を配置できます。



耐震等級3相当の設計を推奨

SW工法住宅では、大規模な地震への備えとして、最高等級となる耐震等級3相当の設計を推奨しています。消防署や警察署など、防災の拠点となる建物の耐震基準に相当し、より安全性の高い住まいをお施主様に提供することができます。



地震の揺れを抑える「制震仕様パネル」をご用意

「木造軸組+パネル」の高耐震モノコック構造によるSW工法住宅は、さらなる安心・安全を目指し、制震仕様のパネルを開発。大きな地震、くり返す余震から、お施主様の大切なご家族や財産を守ります。



*プランや地震の揺れによって、変形量の低減は異なります。



制震テープは、高層ビル用の制震装置に使用されているブチルゴム系素材を住宅用に加工した粘弾性体のテープです。

制震テープは、防災科学技術研究所、東京大学、清水建設の共同研究により開発された、アイディールブレン(株)の製品です。

制震テープはオプションです。詳しくは、担当の住宅会社にご相談ください。

耐震等級3の設計は、住宅会社にて行います。プランや建築条件によっては、耐震等級3を実現できない場合もあります。詳しくは、担当の住宅会社にご相談ください。